

bauma 2016 ファイナルレポート

第 31 回 国際建設機械・建設資材製造機械・鉱業機械・建設車輛・建設機器専門見本市
2016 年 4 月 11 日～17 日
ドイツ・ミュンヘン見本市会場

2016 年 4 月 17 日

bauma 2016 出展社業績に伸び 需要高まる

Summary

- 出展企業は 58ヶ国から 3,423 社
- 来場者は 200ヶ国から約 580,000 人
- 予想を上回る取引活動



Facts & Data

会 期	4月11日(月)～17日(日) 9時30分～18時30分 4月16日(土) 8時30分～18時30分 / 17日(日) 9時30分～16時30分
会 場	ドイツ・ミュンヘン見本市会場
主 催	メッセ・ミュンヘン (Messe München GmbH)
後 援	VDMA - ドイツ機械工業連盟 CECE - 欧州建設機械工業連合会
規 模	605,000 m ² (2013年:570,000 m ²)
出 展 社 数	58ヶ国から 3,423 社 (2013年:57ヶ国から 3,421 社)
来 場 者 数	200ヶ国から約 580,000 人 (2013年:200ヶ国から 535,062 人)
主 な 出 展 品	建設機械・車輛・機器・工具、リフト、コンベヤー、コンクリート・モルタル処理・製造、型枠、足場、原料抽出・処理・鉱業機械、選鉱、建材用セメント・石灰・石膏製造、コンクリート・コンクリート製品・プレハブ構成材・石膏・石膏ボード製造機械・システム、アスファルト・予混合ドライモルタル・漆喰・スクリード・石灰砂岩・発電所残渣使用建材製造機械・プラント、駆動・流体技術、発電ユニット、付属品、予備・部品、サービス、検査、測定、プロセス制御技術 など
出展日本企業 (現法出展など含む)	ウエダ産業(株)、栄光マシンセンター(株)、オカダアイヨン(株)、(株)カワサキプレジジョンマシナリ、(株)クボタ、コベルコ建機(株)、(株)小松製作所(コマツ)、(株)コンセック、住友建機(株)、(株)タイガーマシン製作所、(株)竹内製作所、(株)タダノ、(株)鶴見製作所、(株)トプコン、トヨタ工機(株)、(株)中山鉄工所、日本仮設(株)、日本ニューマチック工業(株)、本田技研工業(株)、日立建機(株)、日立住友重機械建機クレーン(株)、富士重工業(株)、ブリヂストン(株)、古河ユニック(株)、古河ロックドリル(株)、北越工業(株)、(株)前田製作所、マックス(株)、三笠産業(株)、三菱マテリアル(株)、(株)諸岡、ヤマモトロックマシン(株)、ヤンマー(株)、ユアサ商事(株) ほか

bauma、7日間にわたる最高の見本市



baumaは、4月11日から17日にかけて、前回は9%増となる200か国から約580,000人の来場者をドイツ・ミュンヘンに引き付けた。ドイツに続き、来場者数の多い国トップ10は、オーストリア、スイス、イタリア、フランス、オランダ、英国、スウェーデン、ロシア連邦、ポーランド、チェコ共和国であった。58か国から訪れた計3,423社の出展社(ドイツから1,263社、ドイツ国外から2,160社)が、同見本市史上最大となる605,000㎡の展示スペースにて製品、開発、イノベーションを展示した。全出展社のうち、ドイツ国外からの出展社は63%を占め、開催史上最多となった。

業界部門の成長を促進

メッセ・ミュンヘン会長兼CEOであるクラウス・デイトリッヒは喜びの意を示した。「今年の参加者からの反響は素晴らしかった。baumaの来場者は常に投資先を探してやってくるが、今年、出展社の注文帳は予想よりかなり早く埋まってしまった。多くの出展社が話題にしているのは、bauma 2016ではこれまでになく需要が高まっているということだ。これは、現在の先行き不透明な状況において、極めて明るい兆しと言えるだろう」。VDMA機械工業連盟会長のヨハン・ザイラー氏もこれに同意した。「baumaは、革新的な新規開発を紹介する理想的なプラットフォームだ。なぜなら、baumaは世界の産業に対して非常に大きな影響力を持っているためだ。繰り返すが、2016年、この世界最大の建設機器見本市は、我々のセクターをさらに成長させる機動力となるだろう」

取引成立のNo.1プラットフォーム

baumaは、出展社数と来場者数、展示面積において記録を更新しただけでなく、注文帳を埋めるのに最適な場所でもある。Liebherr International社理事のシュテファン・ハイスラー氏は、これに同意してこのようにコメントした。「Liebherr社にとって、bauma 2016は大成功だった。当社は様々な市場から、多岐にわたる注文をたくさん受けた。我々の予想を上回った部門すらあった」Zeppelin社理事会の副会長であるミヒャエル・ハイデマン氏は、「bauma 2016は、イノベーションを促進し、一流の見本市としての評判に背かないことを再び証明してくれた」と述べた。

Wirtgenグループの業務執行役員であるユルゲン・ヴィルトゲン氏とシュテファン・ヴィルトゲン氏は、この評価に同意した。「baumaは一流の見本市として、常に業界の指標のような存在であり、当社にとっては最初から特別な意味を持っていた。今年のbauma展示は、今のところ当社史上最も成功を収めている」。また、SBM Minerals社のマネージングディレクター、エルヴィン・シュネラー氏が伝えてくれた通り、baumaの鉱業部門も非常に良い反応を受けた。同氏によると、「baumaはとても国際的な見本市だ。当社ブースにはチリからカナダ、中国からロシア、アフリカからノルウェーまで様々な地域からの来場者が来てくれた。個人的なハイライトは、見本市で予想外の販売契約を結んだことだ」

世界中から訪れる優秀な来場者

この世界をリードする第31回目の建設機械、資材製造・加工および建設用車両、鉱業機械分野世界最大の業界専門見本市が一流であることは確かだ。Peri社マネージングディレクター、アレクサンダー・シュヴェラー氏は同意した。「当社にとってbauma 2016は大成功だった。見本市の反響と来場者の質の高さに大変満足している」。Masa社 販売部長兼役員のフランク・W・レシュケ氏も感銘を受けた。「見本市の結果に非常に満足している。当社ブースには、初日から世界中の来場者が絶えず来てくれた。来場者は一流の方々ばかりで、3年前と同様、素晴



らしい商談ができた」

イノベーション紹介のための最高のプラットフォーム

baumaのもう一つの特徴は、出展社にとってbaumaは、世界中のビジネス来場者に向けイノベーションを発表できるNo.1プラットフォームであるということだ。Terex社CEO兼社長のジョン・L・ギャリソン氏は、「baumaは3年ごとに、世界中の顧客と会える唯一の機会を提供してくれる。業界最大の見本市なので、baumaは新製品やサービスを紹介する良い機会となる」と強調した。そして、欧州コマツ(株)代表でありCEOの森下正敏氏がうまく総括している。「当社はbaumaがたくさんの注目を集めることを利用して、イノベーション発表を行っている。このイベントは業界の道標だ。baumaに間に合うようにマシンを用意しようとしているのはコマツだけでなくはずだ。この見本市は、実に業界全体を前進させてくれる」



次回のbaumaは2019年4月8日から14日にかけて、ドイツ・ミュンヘンで開催される。
詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.bauma.de で

次回予告

- 建設機械関連見本市 -

- | | |
|---------------------------|--|
| bauma China 2016 | 2016年11月22日～25日 於：上海国際見本市会場
www.bauma-china.com (英語 / 中国語) |
| bauma CONEXPO INDIA 2016 | 2016年12月12日～15日 於：HUDA Ground
www.bcindia.com (英語) |
| bauma CONEXPO Africa 2018 | 2018年開催予定 於：Johannesburg
www.bcafrica.com (英語) |

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)